

2024年度 世界遺産学学位プログラム博士(前期)公開発表会
2025年1月16日(木) 10:00~16:00
筑波大学筑波キャンパス人文社会学系棟 B218 教室

1. Dana DeShan Newton 10:05~10:22
『ブラック・セミノールの文化遺産の可能性
—バハマ・レッドベイにおける地域コミュニティとその文化の現状に注目して』
2. 永松 明奈 10:22~10:39
『郡上八幡におけるまちの近代化と郡上おどりの継承に関する研究』
3. 馬 赫 10:39~10:56
『歴史的建造物の保存と活用プロセスの最適化のための「HBIM+VR」技術の
統合的利用—日本民家園旧太田家住宅を事例として』
4. Monica Teofil Koleva 10:56~11:13
『生きている遺産としての無形文化遺産のセーフガーディングに関する研究
—ユネスコ無形文化遺産結城紬の人材育成の現状と変遷を事例として—』

【★休憩 11:13~11:20】

5. 植田 奈々穂 11:20~11:37
『アヤソフィアの役割と存在意義の変遷
—コンスタンティノーブルの征服から現代まで—』
6. スウイ ジョウ 11:37~11:54
『埼玉県飯能市のエコツーリズムにおける計画と実態』
7. Xiao Yao 11:54~12:11
『昭和遺産としての昭和純喫茶の文化遺産的価値と
その創造的継承の現状と課題に関する研究』

【★昼休憩 12:11~13:10】

8. 李 詩涵 13:10~13:27
『台北市における日本統治時代遺産の現状に関する文化遺産学的研究
—市民によって利活用される建築遺産に注目して—』

9. 村上 侑真 13:27~13:44
『堺市の都市整備における百舌鳥古墳群の残存過程とその地価形成への影響』
10. 田中 美和 13:44~14:01
『バンテアイ・チュマール遺跡の回廊浮彫に関する研究
—ジャヤヴァルマン 7 世の治世に着目して』
11. 黒川 峻 14:01~14:18
『歴史的な機能から見る国府跡の保護に関する研究』

【★休憩 14:18~14:30】

12. 岸 創哉 14:30~14:47
『水損紙資料に発生する糸状菌に対する l-Menthol を用いた発育阻止研究』
13. 岩瀬 月楓 14:47~15:04
『歴史的建造物と障壁画で構成される室内意匠空間の保存
—高精細複製による障壁画代替品利用の現状と課題—』
14. 舘合 利伽子 15:04~15:21
『八戸三社大祭に見る災禍の影響:コロナ禍を事例に』
15. 松本 季海芳 15:21~15:38
『有形・無形の統合的アプローチに向けた世界遺産学的研究』